



生きるを楽しむ



SDGs 未来都市
西粟倉村

官民連携による地域活性化の経験について

西粟倉村 地方創生特任参事 上山隆浩

■西粟倉村の紹介



生きるを楽しむ
SDGs 未来都市
西粟倉村



人口1,444人/616世帯
高齢化率35.7%(R2.3)
人口1,416人/607世帯
高齢化率37.2%(R3.3)
人口1,384人/597世帯
高齢化率37.4%(R4.3)
人口1,355人/591世帯
高齢化率37.9%(R5.3)

- ・面積:57.93km² **内93%が森林** そのうち84%が人工林
- ・標高:263m~1280m
- ・気候:年間平均気温11度、
年間平均降水量約2000mm
- ・交通:車で岡山県庁2時間、津山市1時間、**鳥取県庁50分**、鳥取空港50分
神戸1時間30分(高速) 大阪2時間(高速)
特急→新幹線で東京まで 最短 4時間30分
鳥取県・兵庫県と隣接して因幡街道(山陰・山陽の動脈)

■これまで15年間の創発的戦略による取組



■ 20世紀型経済モデルから新しい経済モデルへ

中山間地域は、第1次産業がしっかり生きないと衰退する。20世紀型の“大量生産・大量消費モデル”から離脱し、少量生産＋地域のストーリーによって選ばれるニッチでもブルーオーシャンな市場をターゲットとする“心産業”の創出を目指す。



■ 共感と共有を生むプロジェクト運営

林業を起点とした「百年の森林構想」の例

50年先のビジョン

- 「百年の森林に囲まれた上質な田舎」
- 衰退する一次産業にフォーカス
- 自治体のチャレンジ

自治体（西栗倉村）

- 集約化し、森林施業

民間（西栗倉・森の学校）

- 林業6次化
- 付加価値の添加

- 共感
- 共有
- 発信力
- 見える化

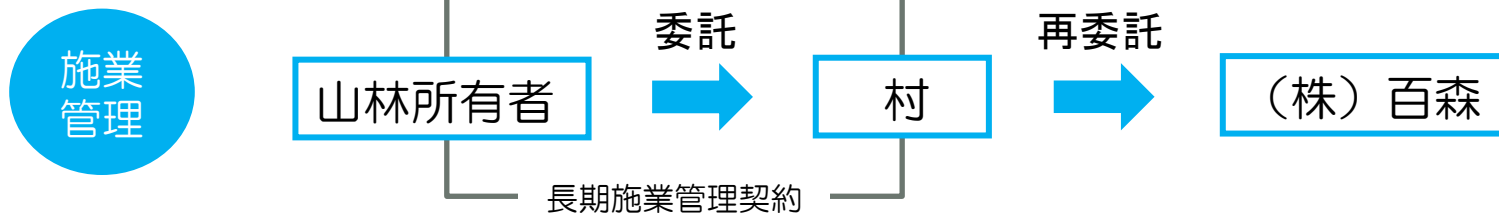


地域自然資本の価値最大化

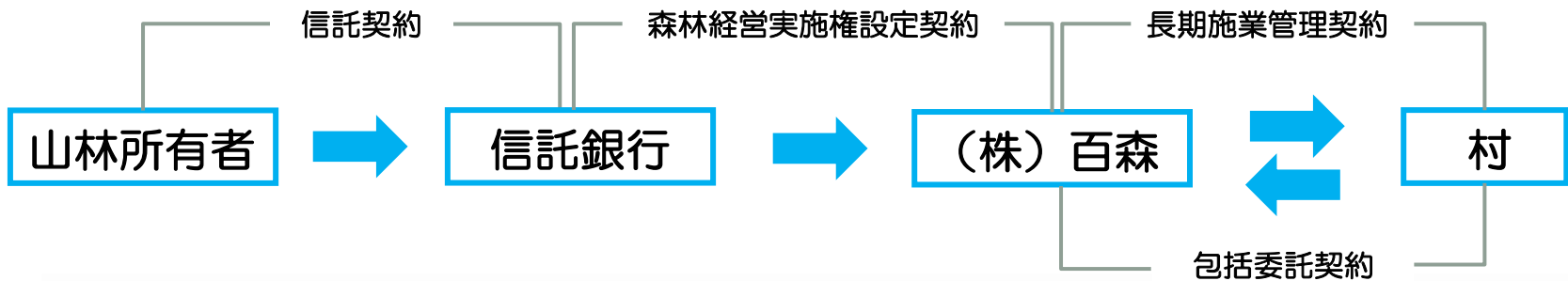
住民・議会・行政・関係人口で共有されたビジョン達成を
脱炭素というツールで実現する⇒ツールの選択は実務レベル

■ 自然資本を「私」から「公」へ転換し、共有財産（コモンズ）として活用する。

○ 「百年の森林事業」による森林管理



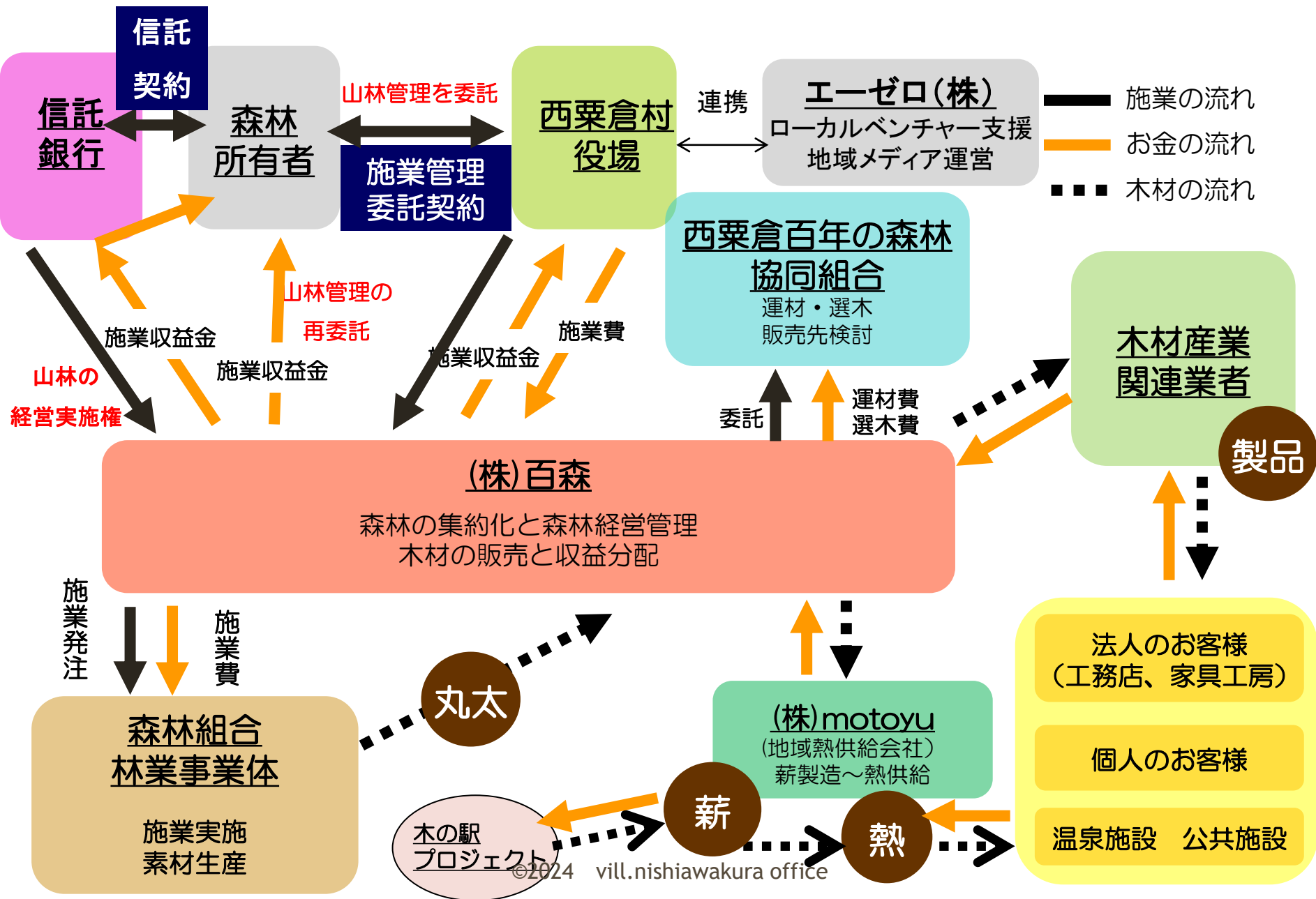
○ 「森林商事信託」による森林管理



個人では管理できない私有財産を自治体が主体となって集約化し地域の社会的共有財産として管理することで森林資源の価値の最大化に地域全体で取り組むことが可能になる。

＝単純な林業でない価値付け→エネルギー・生態系・環境

■ 多様性が新たなソリューションを産む

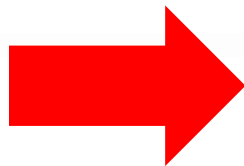


■地域の課題・願いをビジネスモデルに

株式会社百森の設立



2017年10月
株式会社百森設立



2019年度～
百森事業の事業主体が
役場から（株）百森へ

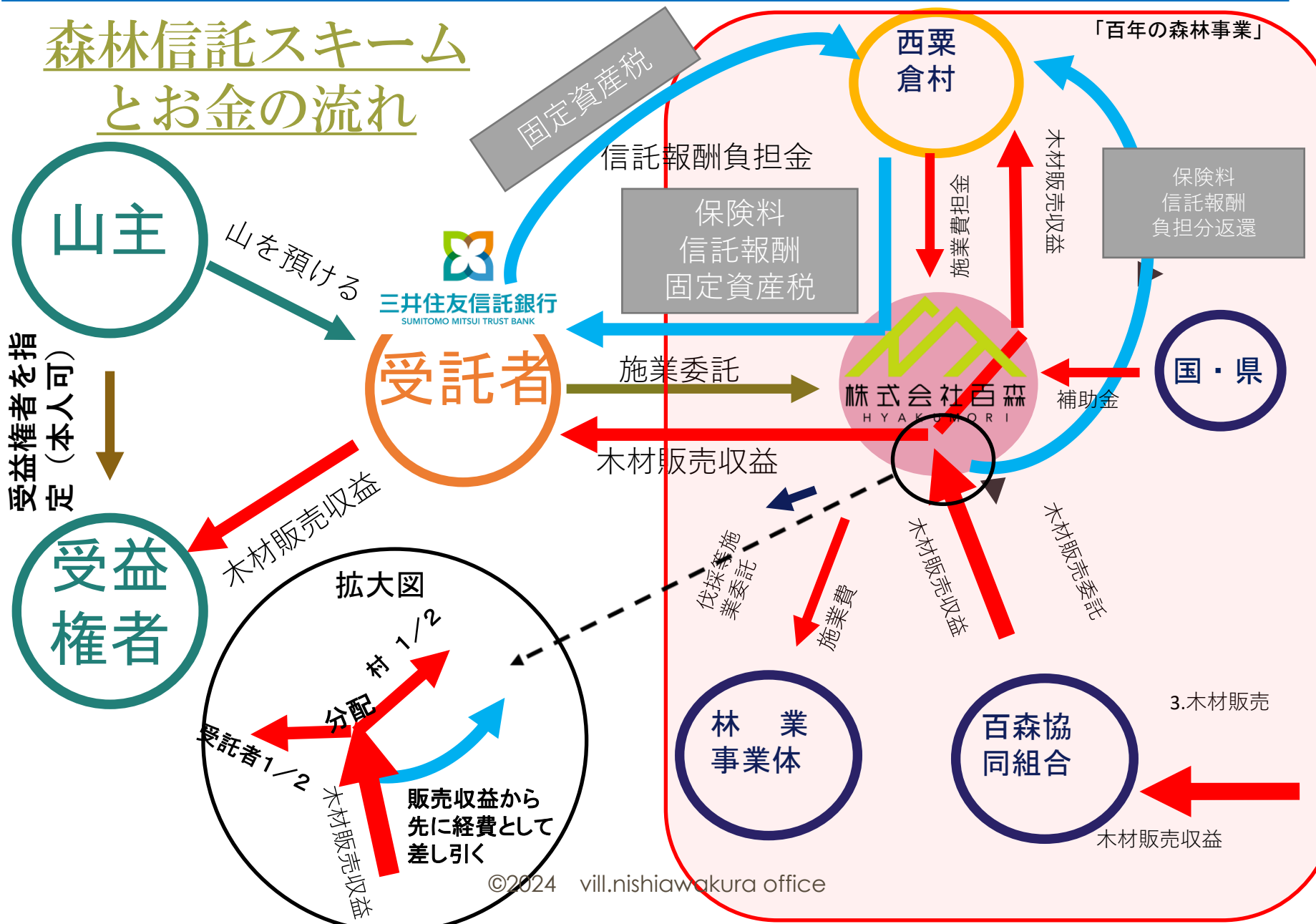
2016年度
地域おこし協力隊制度
東京から

役場で約1年間
林業・百森事業について学ぶ

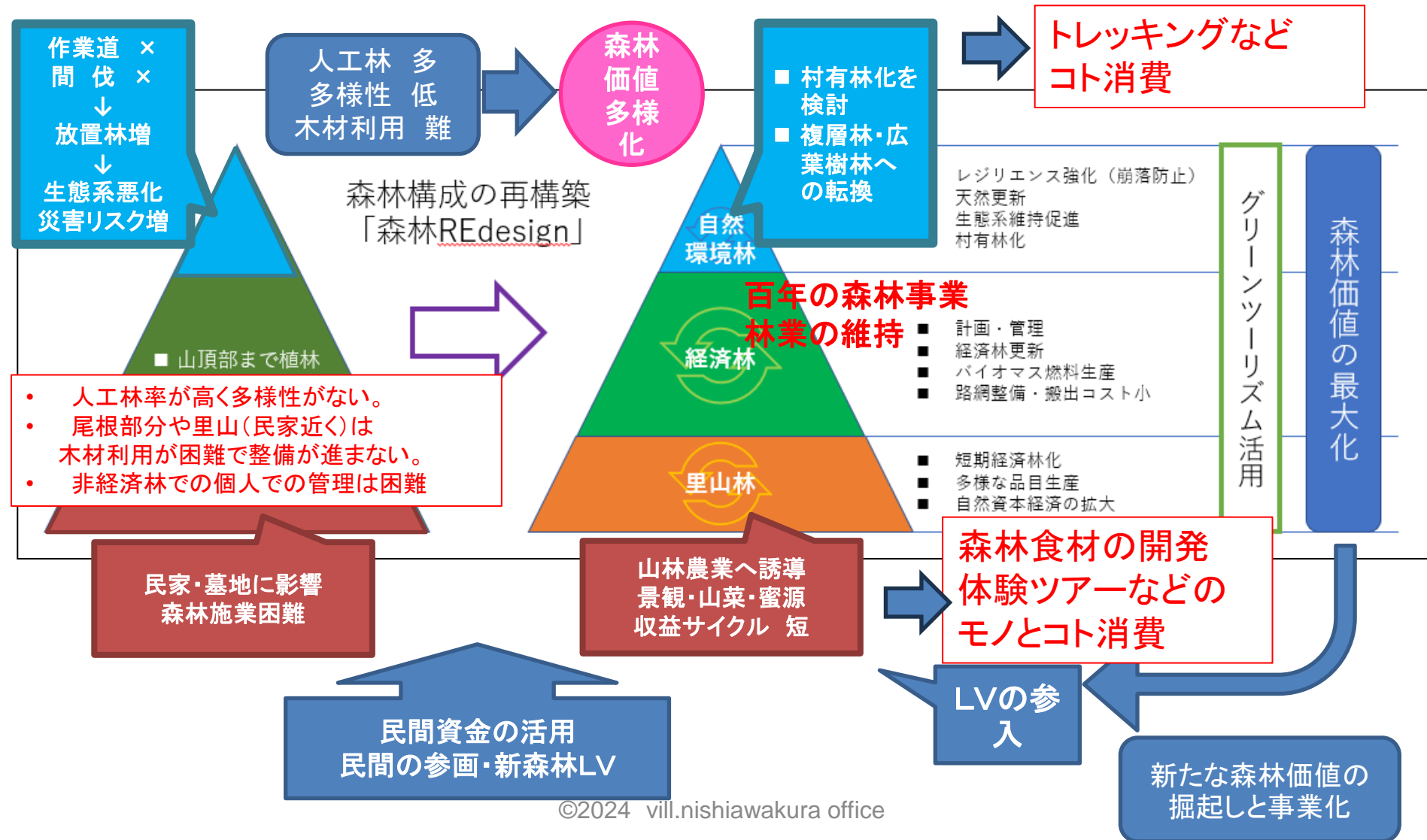


■地域の課題・思いをビジネスモデルに

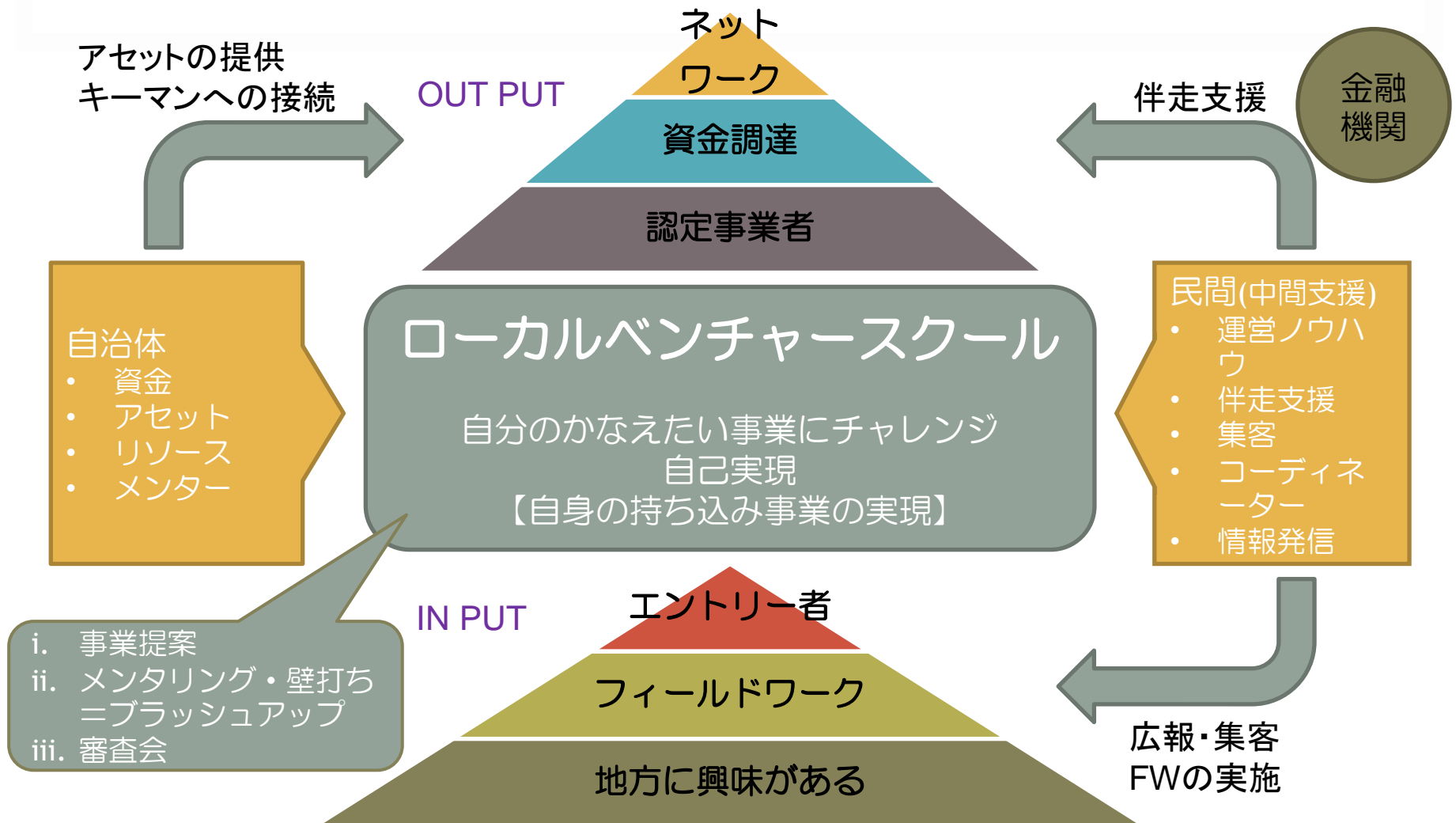
森林信託スキームとお金の流れ



■次世代の森林資本価値向上モデルを目指す 『森林RE Design』（SDGs 未来都市・モデル事業都市）



■ 事業を創出できる人材と仕組みを作る



ローカルベンチャーの産業クラスター

Pioneer
木工

木 薫
西粟倉・森の学校
ようび

木工

関野意匠室＋絡操堂
mori no oto
Kodama
フレル
尾崎漆工房

医療福祉

いとう歯科クリニック
こじか助産所
ネ
Social Animal Bond

中間支援等

エーゼロ
ようび
sonraku

教育

にしあわくらモン
テッソーリ子ども
の家
NEST
ほんまもん

エネルギー

Sonraku
Motoyu

森林計画

百 森

衣・小物

UKIYO
SOMEYASUZUKI
SIBUYA靴
MAMO
SAOL

不動産

クラシカ
エーゼロ

福祉

じゅ〜く

森林整備

青 林
岡田林業
清 勝

デザイン

nottuo
ようび
西粟倉・森の学校
Nabeshima Design

建築

ようび
エーゼロ

食

Ablabo
フレル食堂
maison de frouge
エーゼロ
くんちでん
チーズ観光協会
おさじ
喫茶サーナの家

酒屋

酒うらら

宿

元湯
軒下図書館
天徳寺
あるの森

コンサルティング

げんこつ
野々企画
Forest Eye
エーゼロ

万屋

小松組

ジビエ

エーゼロ
野々肉
ES

研究

むらまるご
と研究所

You tuber

■全国広域連携で人・企業との交流を創出する

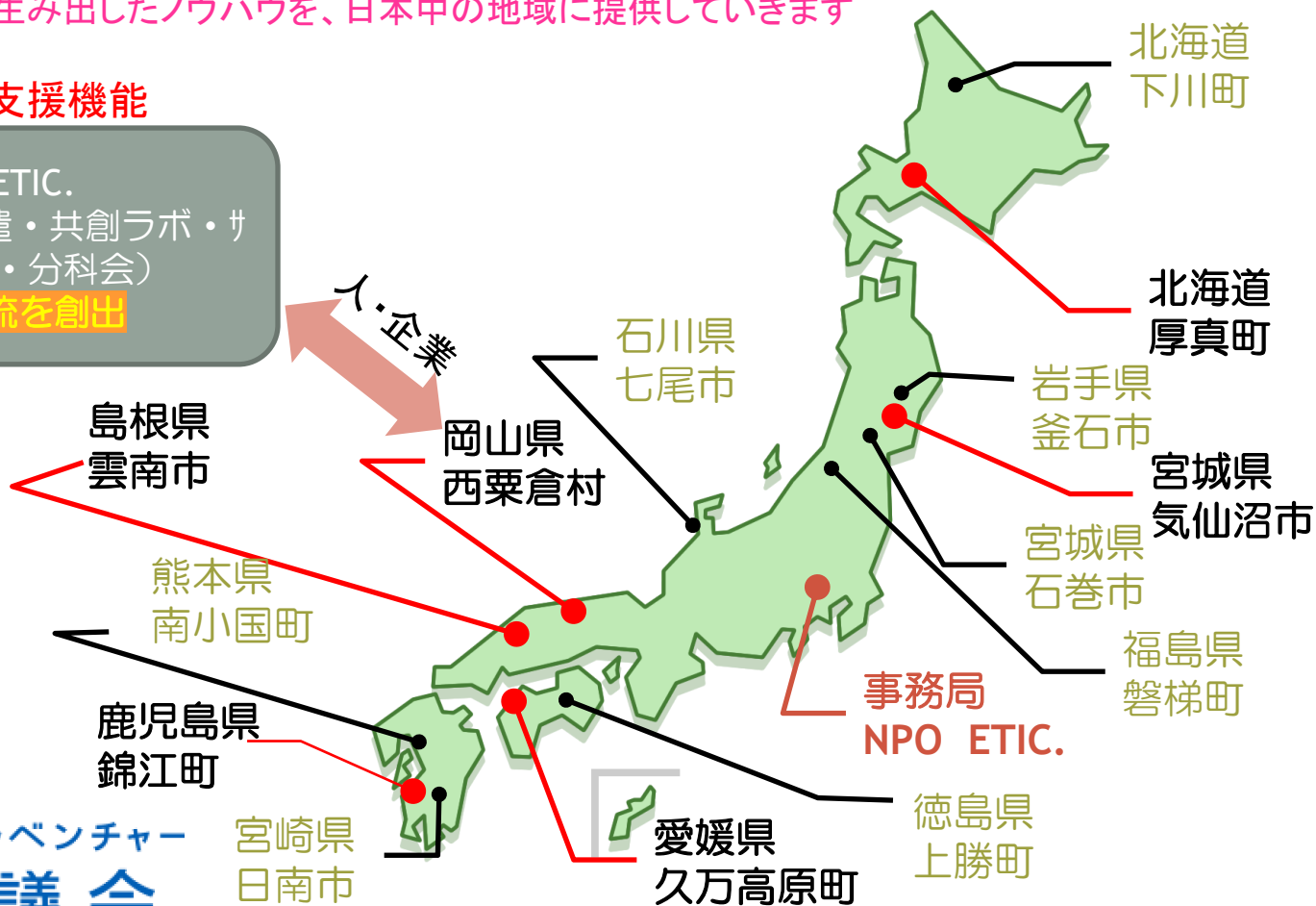
ローカルベンチャー宣言

- ◆ 地域で挑戦するロールモデルを創出します
- ◆ 地域での挑戦者が次々と生まれていく生態系づくりに取り組みます
- ◆ 私たち自身が挑戦者としてあり続けます
- ◆ 地域を超えてつながり、共に進化し続ける全国ネットワークをつくります
- ◆ 私たちが生み出したノウハウを、日本中の地域に提供していきます

- 第2期幹事自治体
- パートナー自治体

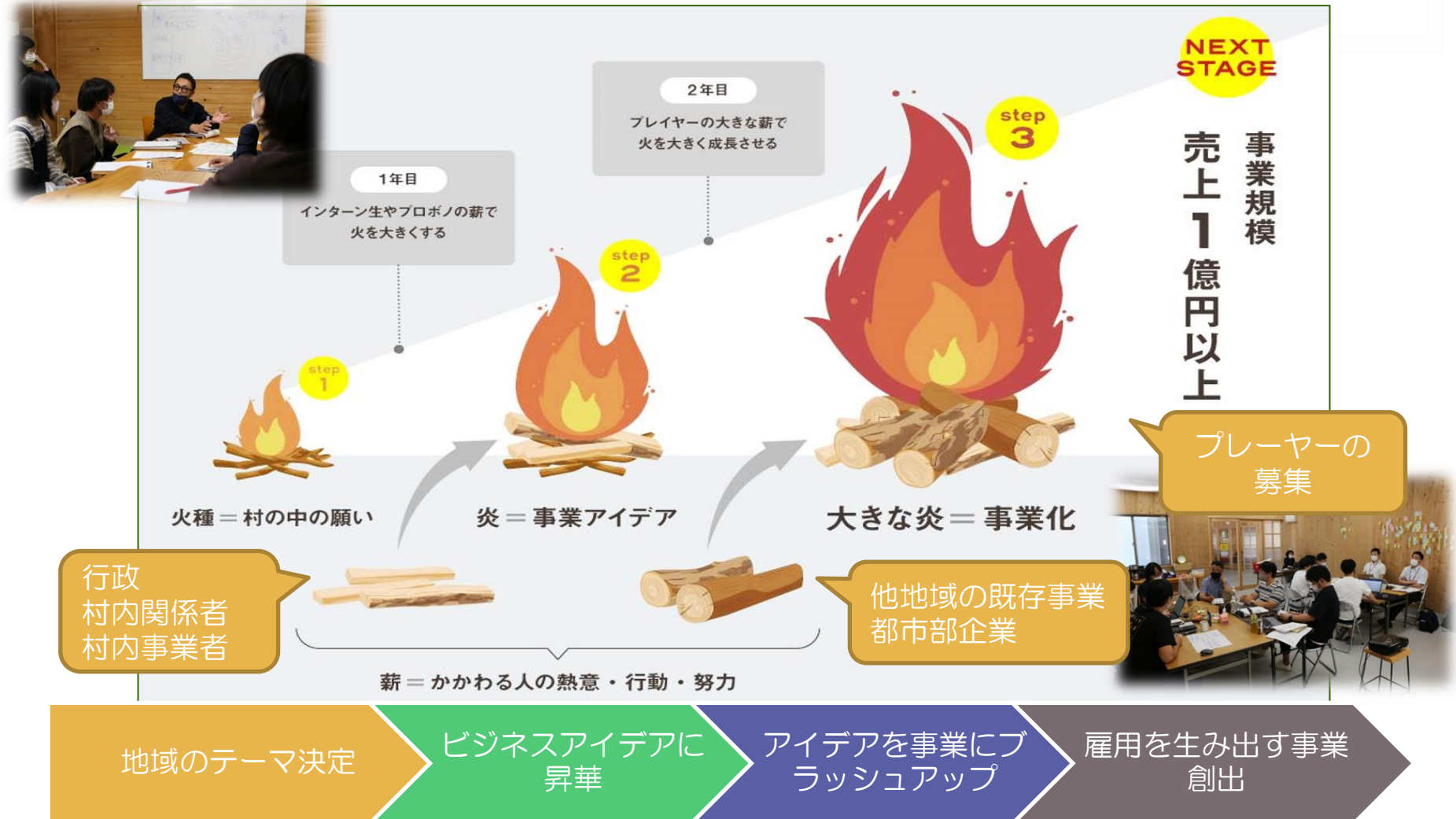
都市部に中間支援機能

NPO法人 ETIC.
広域連携事業（CD派遣・共創ラボ・サ
ミット・自治体合宿・分科会）
人と企業の交流を創出

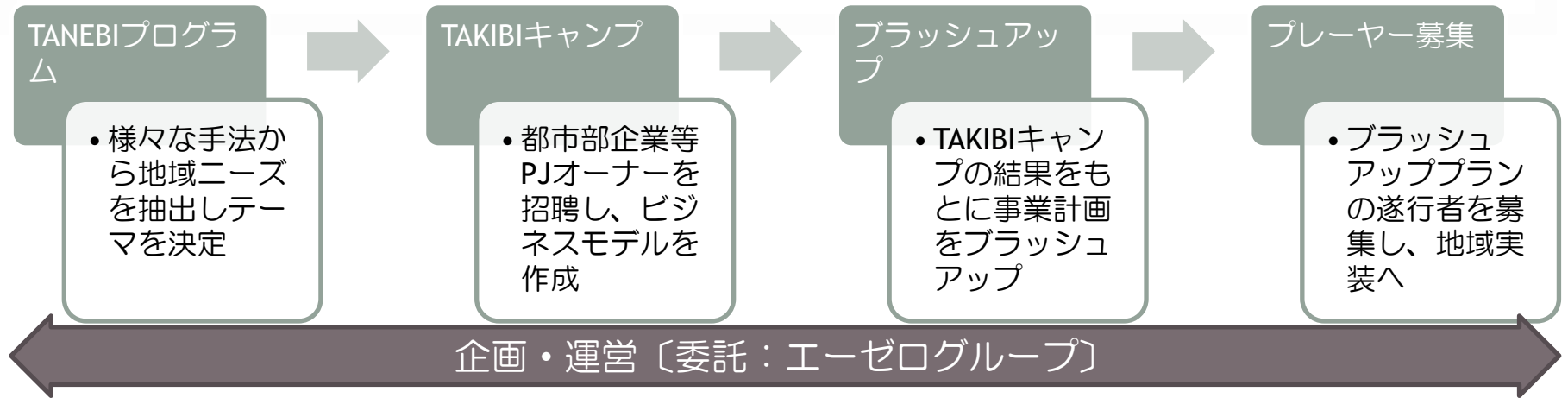


ローカルベンチャー
協議会
LOCAL VENTURE COUNCIL

■官民共創による新しい事業創造 TAKIBIプログラム(2021～)

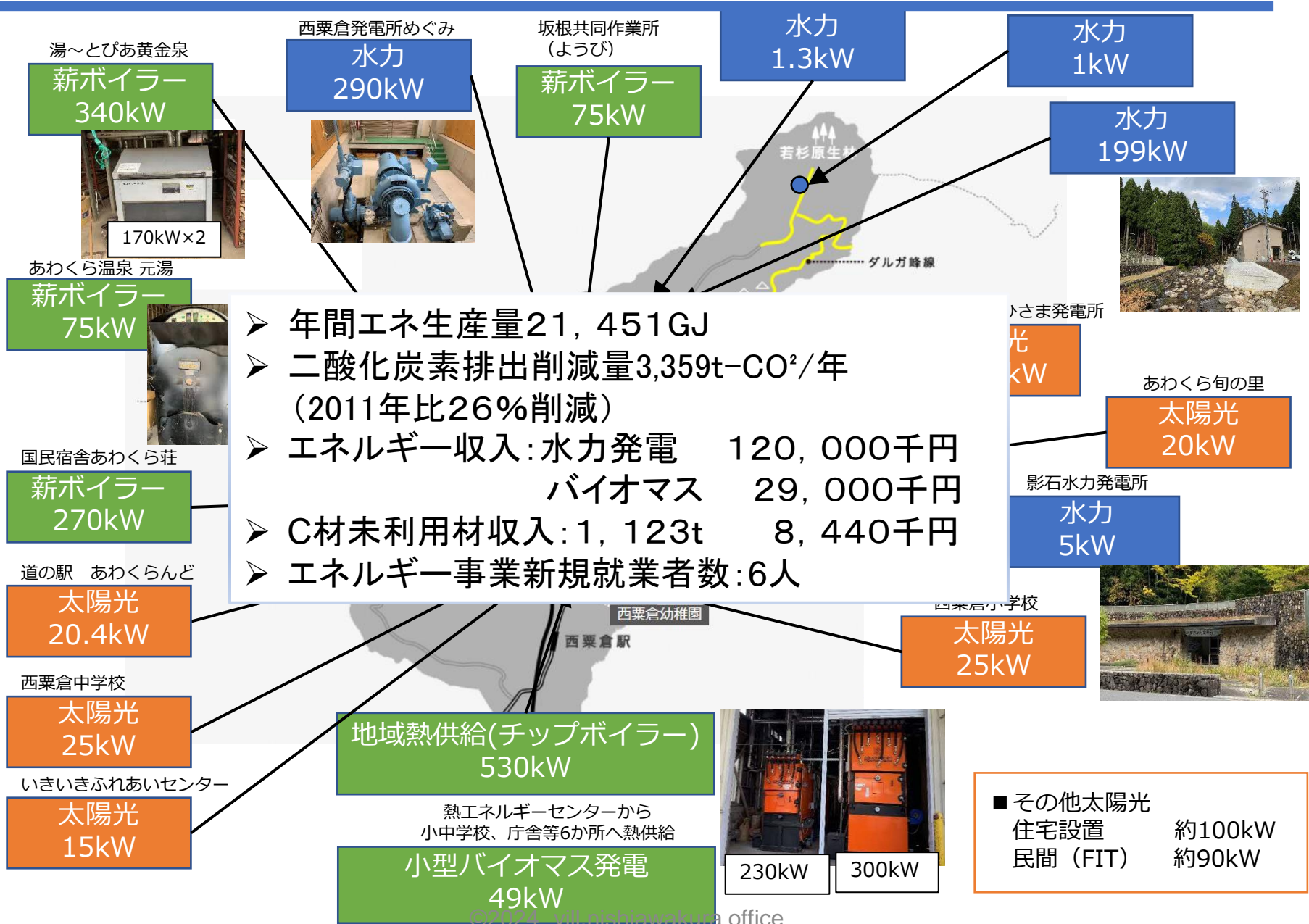


■地域の課題・願いの事業化は 企業の新しい事業領域になる



年度	テーマ	招聘企業	プログラムでの内容	現在の状況
R3	観光の活性化	ワンテーブル カヤック	滞在型観光・新宿泊施設・お土産の内製化・スキー場の再整備	新宿泊施設整備 スキー場再整備
	高齢者の生涯現役	夢古道おわせ うきはの宝 EDING:POSTinc.	ばあちゃん食堂・困りごと売買（HELPストア）・情報発信	企業研修などと合わせた事業開発
R4	電力会社	三ツ輪HD パナソニックエナジー テクノ矢崎	新電力会社の設立可能性 村産電力の地域利用	(株)百年の森林でんきの起業
	在宅医療	医療法人社団悠翔会 村内事業者	村で暮らし続けるための健康と医療	保健福祉課で検討 健康福祉分野で健康づくりの事業化分野を模索検討

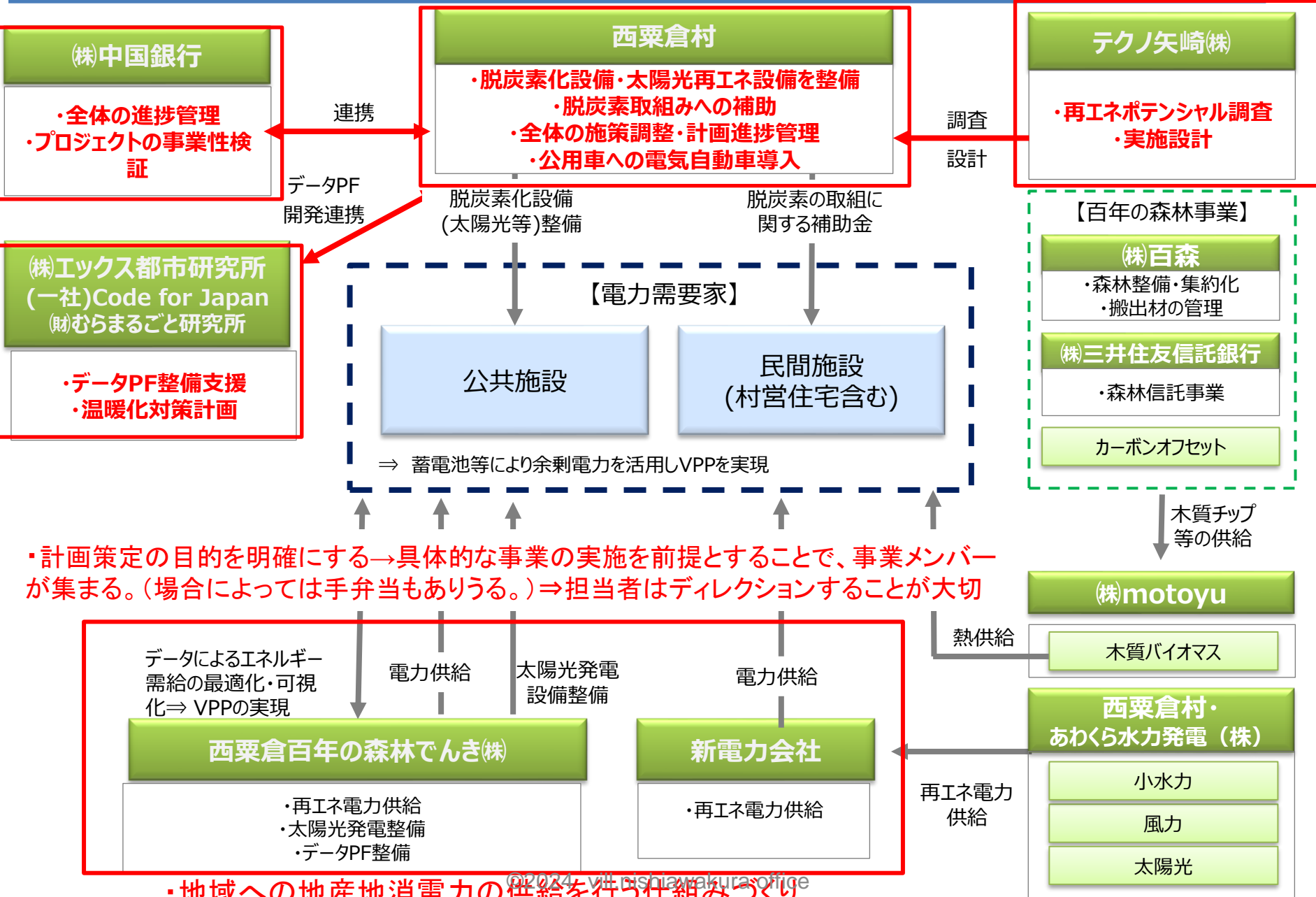
官民共創で進めるエネルギーの自給



- 年間エネ生産量21,451GJ
- 二酸化炭素排出削減量3,359t-CO²/年 (2011年比26%削減)
- エネルギー収入: 水力発電 120,000千円
バイオマス 29,000千円
- C材未利用材収入: 1,123t 8,440千円
- エネルギー事業新規就業者数: 6人

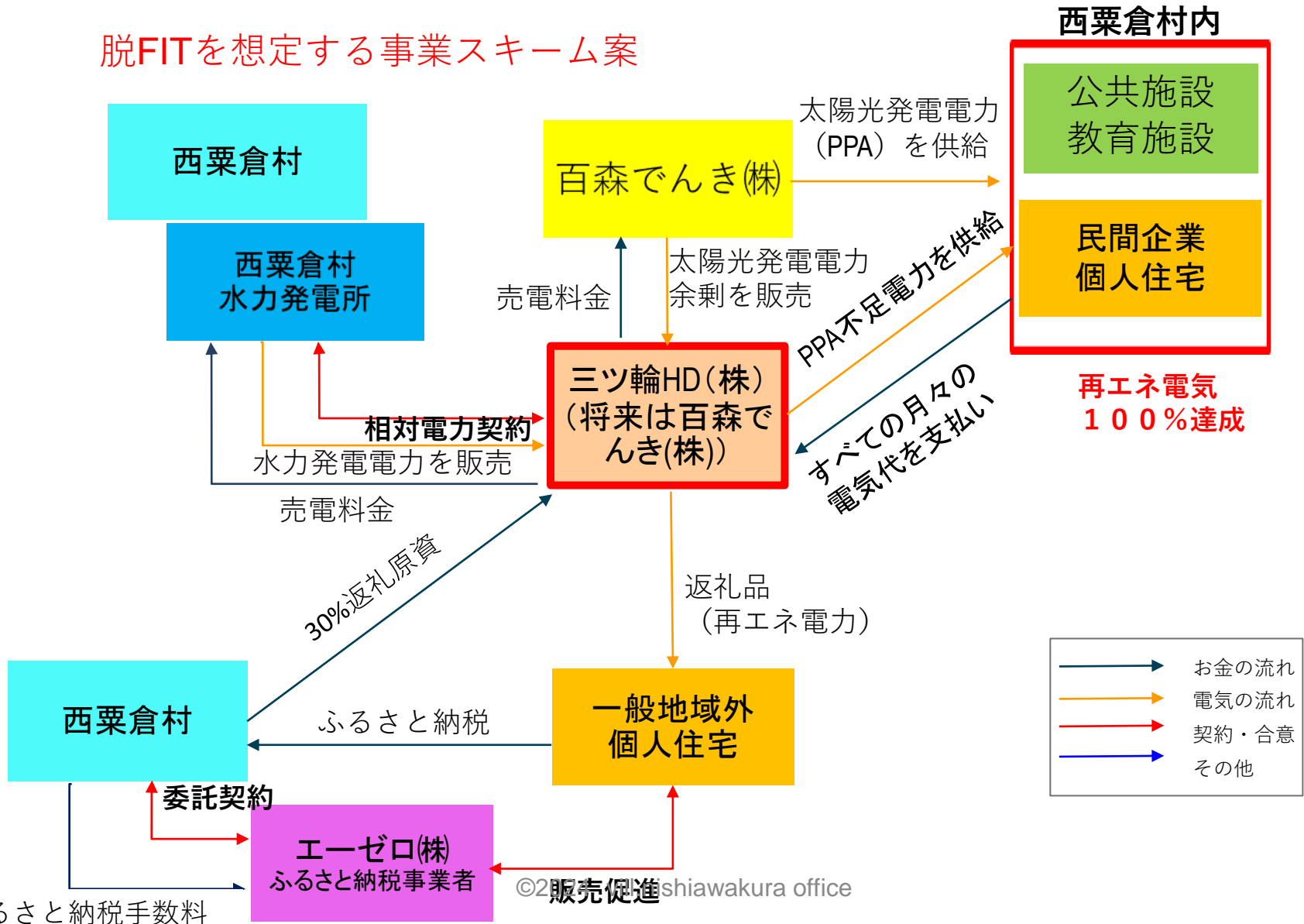
■ その他太陽光
住宅設置 約100kW
民間 (FIT) 約90kW

■脱炭素事業に民間企業の力を取り込む



■ 卒FIT後の新しいビジネスモデルにチャレンジする

脱FITを想定する事業スキーム案



■「百森でんき」でふるさと納税を開始(11月から)



01/05

いつもと同じように電気を使用するだけで、CO2の削減(ゼロカーボン)に貢献できる。

02/05

ふるさと納税の仕組みを使うことにより、脱炭素先行地域である西粟倉村で取り組んでいる持続可能なエネルギーの地域づくりに参加することができる。



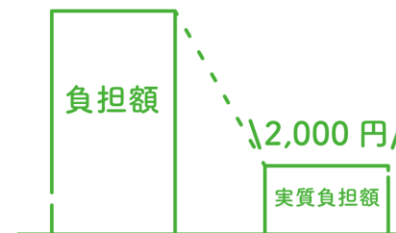
03/05

電気料金は、大手電力会社よりお得になることも。(詳しくは電気料金シミュレーションへ！)



04/05

ふるさと納税の仕組みを使うことにより、実質負担額2,000円で負担額以上の電気代が割り引かれる。



05/05

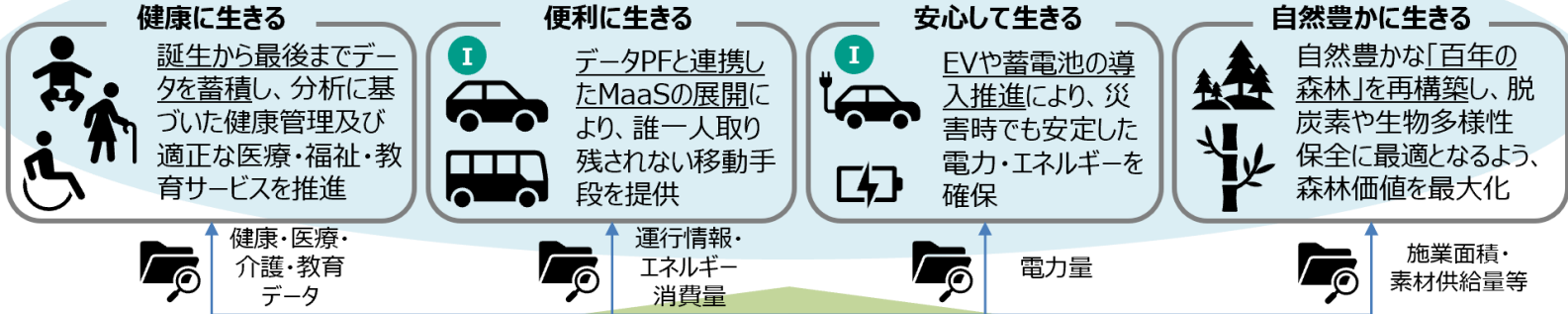
ほぼ全国にて利用することが可能。
(沖縄電力エリアと離島を除く)



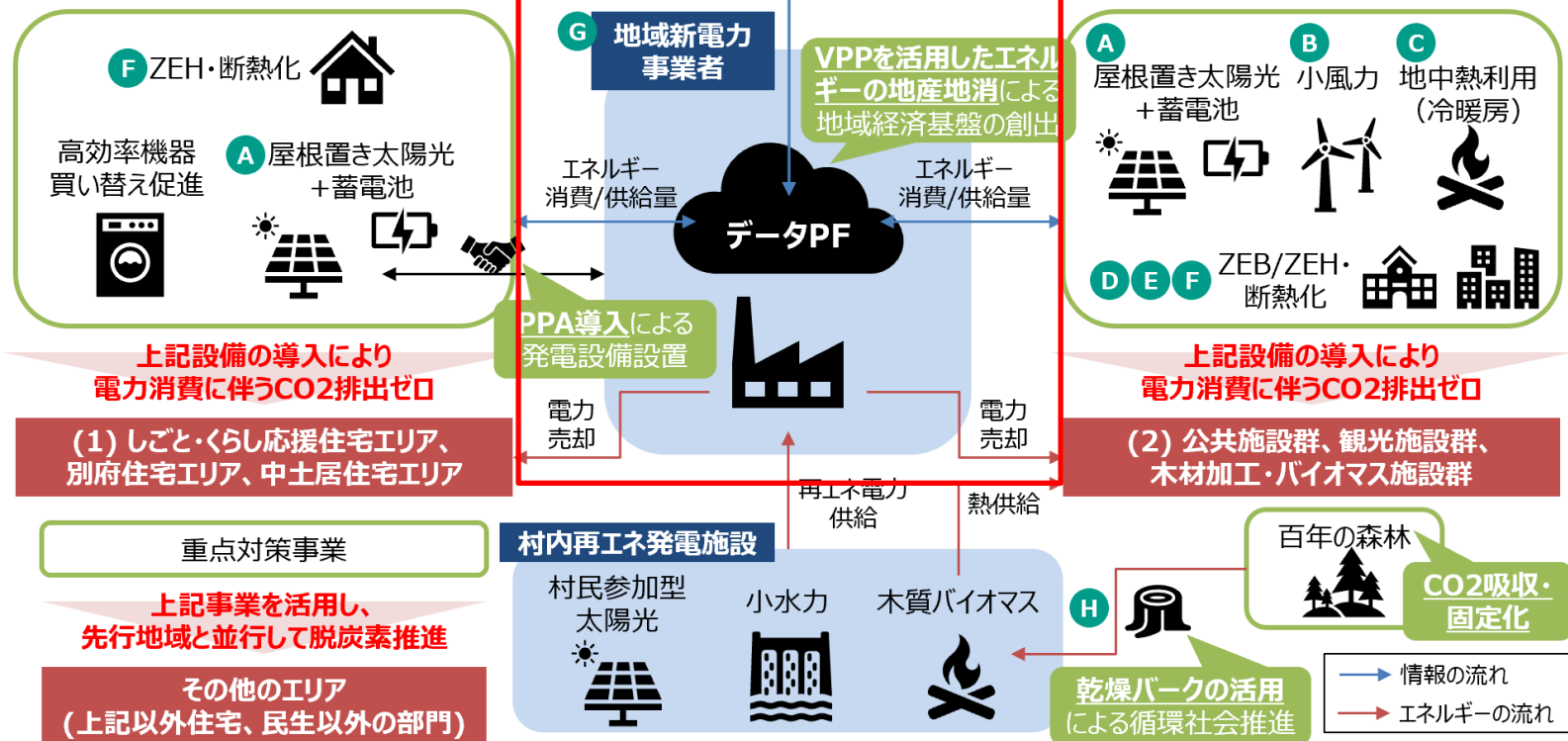
■脱炭素先行地域には新しいソリューション開発の可能性がある

brighten our forests, brighten our life, brighten our future!!
 生きるを楽しむ西粟倉村 ~Well-being~

SDGs未来都市計画



カーボンニュートラルに向けた取組推進により、更に上質な田舎へ



Brighten our Forests,
Brighten our Life,
Brighten our Future!!



生きるを 木 しむ

西栗倉村

